

— 研究会のお知らせ — 止まらない公共事業(スーパー堤防)の謎と行政の実態

と き : 2015年6月6日(土)
午前10時~12時

ところ : 北小岩コミュニティ会館
集会室第3・第4(1階)

講演 : 大江京子 弁護団事務局長

- テーマ・18班問題とは何か？
- ・何故、18班を支援するのか？
 - ・行政権の乱用、仮換地処分は妥当か

： 西島 和(いずみ) 訴訟弁護団

- テーマ・ハッ場ダムと治水効果は？
- ・ダムと土地収用の問題点
 - ・止まらない公共事業の謎



大江京子(おおえ きょうこ)

早稲田大学法学部卒。
1996年弁護士登録。
東京東部法律事務所
入所。
東京大気汚染公害裁判、
中国人戦争被害賠償請
求事件、江戸川区スー
パー堤防事業取消し訴訟
等に関与。



西島 和(にしじま いずみ)

2005年弁護士登録。
ハッ場ダム住民訴訟(東
京都)、成瀬ダム住民訴
訟(秋田県)などの弁護団
に参加。現在、日本弁護
士連合会公害対策・環境
保全委員会委員、東京弁
護士会公害環境特別委員
会委員長など務める。

6月6日(土) 午前10時から、北小岩コミュニティ会館
第3・第4集会室で「江戸川区スーパー堤防事業取消訴訟」
の原告側弁護団を担当している大江京子、西島和両弁護士
を講師に迎え、研究会を開催いたします。
大江弁護士は主に、国と区の主張の矛盾点、西島弁護士
からは、「止まらぬ公共事業の謎」などについてレクチャー
ーいただく予定です。質疑応答も予定しています。
入場無料ですので、皆さまどうぞご参加ください。

スーパー堤防訴訟の争点と行政の問題点を
二人の弁護士が多面的に告発して行きます。